

ボードゲーム『森の守り人』が ウッドデザイン賞2025 優秀賞 林野庁長官賞を受賞

丸紅木材株式会社（所在地：大阪市中区）が企画・製作したボードゲーム『森の守り人』が、ウッドデザイン賞2025 ソーシャルデザイン部門において、優秀賞 林野庁長官賞を受賞しました。本製品は、国産材の魅力を発信する当社玩具ブランド「IKONIH（アイコニー）」の理念を体現したもので、日本の森林資源の持続可能な利用をテーマとしています。遊びながら森林保全や国産材活用の重要性を学べるだけでなく、獣害や自然災害、違法伐採などリアルな林業の現状も学ぶことができます。さらに、小学生から森林・林業関係者まで幅広い層が学びと気づきを得られる設計となっており、木材利用の意義を広く伝える貴重な役割を担っている点が高く評価されました。



商品特徴

▶IKONIHブランドより、森林サイクルを体感できる新発想のボードゲーム

IKONIHは、国産材の価値や木育の重要性を伝えるために誕生したブランドです。「伐る→使う→植える→育てる」という森林サイクルを、サイコロやイベントマスを使って楽しみながら学べる設計。林業の現実や自然災害の予測不能さも体験でき、森林経営への理解を深めます。

▶遊びと学びの両立

クイズやアクシデントなど夢中になる要素を盛り込み、子どもから大人まで無理なく森林・林業について学べます。「学ぼう」と意識しなくても、楽しみながら自然と知識が身につく構成です。

▶専門家監修による本格設計

林業会社や専門家の監修を受け、内容の正確さと分かりやすさを両立。30回以上のテストプレイを重ね、難易度やイベント内容を丁寧に調整しています。

▶国産材の温もりを感じるデザイン

商品の一部は国産ヒノキ材を使用。木の成長段階が一目で分かるパーツや、山の立体感を表現したプレートなど、細部まで木育へのこだわりが詰まっています。

▶教育現場・企業研修でも活用

小学校や百貨店での体験会、行政や企業での研修教材としても導入。参加者からは「展開が読めず面白い」「災害や林業のリアルさが体験できる」と高評価を得ています。



受賞の背景

ウッドデザイン賞は、木材利用の促進と森林資源の持続可能性を目指す取り組みを顕彰する制度です。ソーシャルデザイン部門は、社会課題の解決や地域活性化に寄与する取り組みを評価する部門であり、今回の受賞は、当社が推進する「国産材の価値を広める活動」が社会的意義を持つことを示すものです。

今後の展開

今後は、全国の販売代理店や教育機関と連携し、ワークショップや出前授業などを通じて、より多くの方に日本の森林や国産材の魅力を伝えてまいります。また、『森の守り人』を遊戯性教材として、学校教育や企業研修、地域イベントなど様々な場面で活用し、遊びながら学べる森林環境教育のツールとして普及を目指します。ボードゲーム体験後に実際の森林体験を組み合わせるなど、実践的な学びの場の創出にも取り組む予定です。



商品概要

- ・製品名 : 森の守り人
- ・価格 : 16,500円（改定予定）
- ・体験・入手方法 : レンタルから販売まで、柔軟に対応可。
出前授業も含めて、詳細のご相談は下記よりお気軽にご連絡ください。
- ・サイズ、内容物 : ゲームマット：1枚 594×420
山プレート1個、木のコマ45本、プレーヤーコマ4個、サイコロ2種、カード各種160枚

お問い合わせ先
丸紅木材株式会社

電話 : 06-6260-0081
メール : tabuchi@marubenilumber.co.jp
担当 : 田淵

COMPANY INFO



丸紅木材株式会社
MARUBENI LUMBER CO., LTD.

所在地（本社） : 大阪府大阪市中央区南船場1-18-17
代表者名 : 清水文孝
資本金 : 9,280万円
事業内容 : 木材の卸、国産材製品の製造、販売
自社サイトURL : <https://www.marubenilumber.co.jp/>

丸紅木材株式会社はSDGsの4・12・13・15・17に賛同し事業活動を行っています。